

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 14

接ぎ木された命を生き、命の中で王として支配し、すべての環境に打ち勝って、勝ち得て余りがあり、キリストの中ですべての事柄に対して超越している

聖書：ヨハネ15:1, 4-5. ローマ5:17, 21. 8:31-39. エペソ1:20-21. 2:5-6.

I コリント15:54-55, 57. I ヨハネ5:4

- I. キリストにある信者として、わたしたちは接ぎ木された命を生きるべきです。それは、主と一つ霊である、彼との有機的結合の中で生きる命です——I コリント6:17. ヨハネ15:1, 4-5 :
- A. 聖書が啓示する、神が人に対して持つことを願っている関係とは、神と人が一になることです——I コリント6:17 :
1. 神が願うのは、神聖な命と人の命が共に結合されて、一つ命になることです——ヨハネ15:1, 4-5。
  2. この一は有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です。
  3. わたしたちがキリストの中へと接ぎ木されるために、彼は、肉体と成ること、十字架、復活という過程を経なければなりません——1:14. 3:14. 12:24. 20:22 :
- a. キリストが肉体と成って、ダビデの子孫、ダビデの枝となったのは、わたしたちが彼と共に接ぎ木されるためです——1:14. マタイ1:1. ゼカリヤ3:8. エレミヤ23:5. 33:15。
- b. キリストが十字架上で「切られた」のは、わたしたちが彼の中へと接ぎ木されることができるためであり、また彼が復活したのは、命を与える霊と成って、わたしたちの中へと入り、わたしたちを彼と一つ霊にするためでした——I コリント15:45後半. II コリント3:17前半. ローマ8:10. I コリント6:17。
- B. 再生された者たちとして、わたしたちは接ぎ木された命を生きるべきです。この命は、両者が結合されて、有機的に成長する命です——ヨハネ15:1, 4-5 :
1. キリストの中へと接ぎ木された後、わたしたちはもはや自分自身によって生きるのではなく、霊なるキリストにわたしたちの中で生きていただくべきです——ガラテヤ2:20。
  2. わたしたちはもはや自分の肉や天然の存在によって生きるべきではありません。そうではなく、わたしたちの再生された霊、キリストに接ぎ木された霊によって生きるべきです。

3. この接ぎ木を通して、わたしたちは彼と結合され、ミングリングされ、合併されて、キリストのからだとなります——ローマ12:4-5。

C. 接ぎ木された命は、交換された命ではなく、人の命と神聖な命がミングリングされたものです——6:3-5. ヨハネ15:1, 4-5 :

1. 交換ではなく、神聖な命が人の命へと分与され、注入されることがあり、また神聖な命が人の命とミングリングすることがあります。
2. クリスマンの経験における最もすばらしい実際は、キリストにある信者が命の方法でキリストと結合されることです。

D. 接ぎ木された命において、人の命は取り除かれるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされます——ローマ11:17-24 :

1. 接ぎ木された命において、枝は依然として同じ本質的な特性を持ち続けますが、その命は勝った命の中へと接ぎ木されることによって引き上げられ、造り変えられます。
2. 接ぎ木された命において、神聖な命はわたしたちの内側で働いて、消極的な要素を排出します——Ⅱコリント3:18。
3. 接ぎ木された命において、神聖な命は神の当初の創造を蘇らせて、わたしたちの能力は向上させられます——ヨハネ11:25. エペソ4:23。
4. 接ぎ木された命において、神聖な命はキリストの豊富をわたしたちの内側の諸部分に供給します——ローマ12:2。
5. 接ぎ木された命において、神聖な命はわたしたちの全存在に浸透します。この浸透によって、わたしたちは造り変えられて、キリストのかたちに同形化されます——Ⅱコリント3:18. ローマ8:29。

Ⅱ. ローマ書が啓示するのは、信者はからだの生活のために、命の中ですべての事柄を王として支配する必要があるということです——5:10, 17, 21. 12:2, 5 :

A. わたしたちは、神聖で、霊的で、天的で、王的な、王に属する命をもって再生されました。この命はわたしたちを御座に着かせて、万物を王として支配させます——ヨハネ1:12-13. 3:3, 5. 啓5:10. ローマ5:17, 21。

B. 命の中で王として支配するとは、サタン、この世、罪、肉、自分自身、あらゆる環境上の出来事に打ち勝ち、それらを征服し、支配して、あらゆる種類の不従順を征服することです——8:2, 35, 37. 5:17-18。

C. 経験から言えば、命の中で王として支配するとは、神聖な命の支配の下にあることを意味します :

1. キリストは、御父の神聖な命の支配の下にいることによって、命の中で王と支配することのひな形です——マタイ8:9。
2. パウロは彼の生活と務めにおいて、神聖な命の支配の下にいて、からだのために主に生きた者の模範です——Ⅱコリント2:12-14. 5:15. ローマ14:7-9。

3. 満ちあふれる恵みと義の賜物を受けたすべての信者は、神聖な命の中で制約と制限を実行する必要があります。
- D. ローマ書第5章における命の中で王として支配することは、ローマ書第6章から16章にあるすべての事柄に対する鍵です：
1. わたしたちはこの光の中で、第6章から16章にあるすべての事柄を見る必要があります。
  2. 命の中で王として支配することは、第6章から16章において定義されています。そこで述べられているすべての事柄は、わたしたちの努力の賜物ではなく、満ちあふれる恵みを受けた結果です。
  3. もし命の中で王として支配するなら、わたしたちはこれらの章において提示されているすべての事柄の中にいるでしょう。
- E. わたしたちが命の中で王として支配し、神聖な命の支配の下で生きることの結果は、召会生活の中で表現される真の実際的なからだの生活です——12:5-8, 16:1-5, 16, 20：
1. ローマ書第12章から13章にある、からだの生活をするものの各項目は、神聖な命によって支配されて、主に生きることをわたしたちに要求します：
    - a. わたしたちは、わたしたちの体を生きた犠牲としてささげなければなりません——12:1後半。
    - b. わたしたちはこの時代にかたどられるのでは、思いが新しくされることによって造り変えられるべきです——2節。
    - c. わたしたちは自分自身について思うべきことを超えて、思い上がるのでは、神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思うべきです——3節。
    - d. わたしたちは、キリストのからだの中には多くの肢体があり、すべての肢体は同じ機能を持っていないことを認めるべきです——4-5節。
  2. わたしたちは命の中で王として支配することによって、からだの生活のために、最高の美德の生活をする必要があります：
    - a. わたしたちは偽りのない愛を持って、兄弟愛の中で互いに温かく愛し合うべきです——9前半, 10節前半。
    - b. わたしたちは熱心で怠けることなく、霊の中で燃え、主に仕えるべきです——11節。
    - c. わたしたちは患難の中で耐え忍ぶべきです——12節後半。
    - d. わたしたちは喜ぶ人たちと共に喜び、泣く人たちと共に泣くべきです——15節。
    - e. わたしたちはできる限り、すべての人と平和に生活すべきです——18節。

F. わたしたちが命の中で王として支配するのは、アダムと共に死に、キリストと共に生き、すべての環境に打ち勝つことにおいてだけでなく、キリストと共に接ぎ木された命を生きることにおいてもあります——11:17-24:

1. わたしたちが命の中で王として支配するのは、わたしたちがキリストに接ぎ木されることにおいて、新創造の命を生きるためです。
2. これが意味するのは、わたしたちがキリストにある新創造となって、新創造であることの規則にしたがって、その霊によって生きるのは、新しい人を着て、新しい人が新しくされることを経験するためであるということです——II コリント5:17. ガラテヤ6:15-16. 5:25. エペソ2:15. 4:23-24. コロサイ3:10.
3. わたしたちが命の中で王として支配するのは、新創造の命を生きるためだけでなく、わたしたちがキリストに接ぎ木されることで永遠に支配するためでもあります——II テモテ2:12. 啓20:4. 22:5.

III. わたしたちが接ぎ木された命を生き、命の中で王として支配するとき、わたしたちを愛するキリストの中で打ち勝つことによって、すべての状況において勝ち得て余りがあります——ローマ8:37:

- A. 命の中で王として支配することによって、わたしたちはすべての環境に打ち勝つことができます——31-39節. 参照、I コリント15:54-57.
- B. わたしたちはキリストと共に打ち勝つことで勝ち得て余りがある必要がありますが、自分自身の中で打ち勝つこともないし、打ち勝つこともできません。そうではなく、わたしたちはキリストの勝利の中で打ち勝つのです——54-55節。
- C. 「これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります」——ローマ8:37:
  1. 神の愛 (39節) は彼の救いの源であって、彼の救いの中で、わたしたちに対するこの愛はキリストの愛となりました (35節)。それは、キリストの恵みを通して、わたしたちの中で神の全体的な救いを成し遂げます。
  2. この神の愛はキリストの中にあって、聖霊を通して、わたしたちの心の中に注がれています (5:5)。この神の愛から、わたしたちを引き離すことのできるものは何もありません (8:38-39)。
- D. わたしたちに対する愛のゆえに神がわたしたちのために行なう驚くべき事柄は、あらゆる種類の苦難と災いをもってわたしたちを攻撃するよう敵に促すことです——35-36節:
  1. キリストにある神の愛に対するわたしたちの応答のゆえに、これらの攻撃はわたしたちにとって益となります——28節。
  2. キリストにある神の愛の結果として、わたしたちはすべての災いにおい

て勝ち得て余りがあります——37節：

- a. わたしたちに対する変わることのない愛と、キリストがわたしたちのためにあらゆることを成し遂げたという事実のゆえに、患難も迫害もわたしたちを抑圧し、打ち倒すことはできません。
- b. むしろ、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは打ち勝って、勝ち得て余りがあります——37節。

**IV. 復活し、昇天し、御座に着かれたキリストの中で、わたしたちはすべての環境の中でキリストと共に打ち勝つことで、超越することができます——エペソ2:5-6：**

- A. キリストは彼の昇天において、ハデス [陰府] と地と空中を超越しましたが、そこでは、サタンと彼の勢力が神に逆らって行動しています——1:21. 4:9-10. I ペテロ3:22. コロサイ1:16. 2:15.
- B. 超越する力は、主イエスを天上で神の右に座らせ、すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名を超えて、はるかに高くされました——エペソ1:20-21. ヘブル7:26.
- C. エペソ書によれば、わたしたちは彼の復活と昇天においてキリストに結合されましたが、それは天上へと超越するためでした。これは万物の上に超越することです——2:5-6：
  1. エペソ書第1章が告げているのは、わたしたちはキリストと共に復活し昇天させられたので、地の下にあるすべての物だけでなく、地上にあり、空中にあり、天にあり、天の上にある天上にさえあるすべての物の上にも超越しているということです。
  2. わたしたちはまた、すべての支配、権威、力、主権、そしてこの時代ばかりではなく、来たるべき時代においても唱えられるあらゆる名をはるかに超えて、高くされました——20-21節。
- D. わたしたちは地上で生活し、動いています、キリスト・イエスの中で、天上で、キリストと共に座られました——2:5-6：
  1. わたしたちはキリストの中で天上にいるので、いかなる人や問題の下にもいません。それどころか、わたしたちはすべての人や問題をはるかに超えて、高くされています——6節。
  2. わたしたちはキリストの中で超越しているので、地的な物事より高くされていて、これらのものはわたしたちに触れることができません——コロサイ3:1-2。
  3. わたしたちは超越しています。なぜなら、キリストにある信者として、わたしたちは彼の死と復活を通して、彼との有機的結合の中で、天上に

いるからです——エペソ2:5-6. I コリント6:17。

E. 今日わたしたちはキリストと共に彼の勝利の中で、すべてに超越する命を生きています——15:54-55, 57 :

1. わたしたちが命の中で王として支配するとき、すべての環境において、だれもがキリストの勝利の中で超越しています。
2. キリストの復活は彼の勝利でした。それは、彼を信じ、彼の復活にあずかるわたしたちのために、究極の完全な勝利を成し遂げるでしょう——5 4節. 使徒2:24, 32-33. ヨハネ11:25. エペソ2:5。
3. 復活を通してキリストは、神の敵であるサタンに対して、この世に対して、罪に対して、死に対して勝利を得ました——ヘブル2:14. ローマ16:20。

F. キリストの勝利は、命における、わたしたちの日ごとの経験となる必要があります——I ヨハネ5:4 :

1. キリストの勝利は、わたしたちが受けるべき単なる達成された事実であるべきではありません。
2. それはまた、命を与える霊である復活したキリストとわたしたちの霊とが結合して一つ霊となることを通して、命における、わたしたちの日ごとの経験となって、わたしたちがみなキリストと共に打ち勝つことにおいて超越するためでもあります——ローマ8:4。

G. わたしたちが困難な状況に耐えられず、抑圧がわたしたちの限界を超えるときはいつでも、わたしたちの霊に戻り、イエスをひたすら見つめるべきです。そうすれば、わたしたちはそれを乗り越えて、超越し、勝利するでしょう。すべてはわたしたちの足の下にあるでしょう——6 節. ヘブル2:8-9. 12:2. コロサイ3:1-2。

1. 暗やみと死と苦悩の淵から、キリストはわたしを引き上げて、彼の御座へもたらされた。もはやサタンの暗い妄想の虜にはならない。キリストの超越と共に、わたしは彼だけのものである。
2. 弱さと挫折の淵から、賛美と全き平安の山に置かれた。彼の中で安息して、命の甘い成就が内側を全開で流れていることを知る。
3. 恐れと失望の淵から、威光と喜びと恵みの山の上に置かれた。キリストと共に王として支配して、わたしは彼の満足を味わう。彼と共に宴席に着いて、花婿の御顔を見る。